

保護者のみなさまへ

吹田市立東佐井寺小学校  
校長 内田 祐子

## 令和4年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、6年生を対象として「令和4年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月上旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語・算数・理科に限られております。また、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった6年生には、よりきめ細かな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導方法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にさせていただきますようお願いいたします。

### 1 教科に関する調査の分析

#### ●国語《概要》

全国値をやや下回る

#### ●国語《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

##### 話すこと・聞くこと

- ・「必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を伝える」「互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる」ことに、やや課題があります。

##### 書くこと

- ・「文章全体の構成や書き表し方などに注目して、文や文章を整える」ことに、やや課題があります。
- ・「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つける」ことに、課題があります。

##### 読むこと

- ・「登場人物の相互関係について、描写を基に捉える」ことは、できています。
- ・「登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える」「人物像や物語の全体像を具体的に想像すること」「表現の効果を考える」ことに、やや課題があります。

##### 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ・「漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く」ことに、課題があります。また、「話し言葉と聞き言葉との違いを理解すること」「漢字を文の中で正しく使う」ことについても、課題があります。

#### ●国語科における成果と今後の改善点について

読むことでは、本校の研究テーマ「子どもの主体的な学びのある授業づくり」において、「物語文・説明文教材の学習」という点に焦点化したことで、登場人物の行動や気持ち、相互関係を叙述に基づいて読み取る力が育ってきていることが伺えます。

書くことでは、自分の文章の良いところを見つけ、推薦する文章を制限字数内でまとめることに苦

手意識が見られました。授業や日記等で、条件を踏まえた文章を書くことを取り入れていきたいと思  
います。

漢字については、既習の漢字を文の中で使うことに課題が見られます。漢字を機械的に覚える  
だけではなく、日常的に文章の中で使うよう意識して学習していけるよう取り組んでいきます。また、  
授業中等で話し言葉と書き言葉の違いを取り上げる機会を増やすよう取り組んでいきます。

## ●算数《概要》

全国値を下回る

## ●算数《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

### 数と計算

- ・「二つの数の最小公倍数を求めることができる」こと、「示された場面において、目的にあった数の処理の仕方  
を考察できる」ことは、できています。しかし、「示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述で  
きる」ことに課題が見られます。

### 図形

- ・「正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方につい  
て考察し、記述できる」ことや「図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について  
理解している」ことや「示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判  
断できる」ことに課題が見られます。

### 変化と関係

- ・「百分率で表された割合を分数で表すことができる」ことや「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあること  
を用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる」ことに課題が見られます。

### データの活用

- ・「目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができる」ことは、できています。
- ・「分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できる」ことに課題が見られます。

## ●算数科における成果と今後の改善点について

「図形」の領域では、図形の性質や構成の知識を活用し説明する問題に関して、課題が見られま  
した。知識の定着だけでなく、知識を活用し筋道を立てて説明したりする取り組みを目指した授業づ  
くりに取り組んでまいります。

「変化と関係」の領域では、割合を用いて問題を解決する場面に課題が見られました。日常の場  
面に対応させながら理解させたり、図や式などを用いて表したりすることができるよう、指導してまい  
ります。

「数と計算」の領域では、最小公倍数や目的に合った数の処理を考察できています。互いに共有  
し、深め合う活動を取り入れてきたことや、一人1台端末を活用し主体的に学習した成果が見られま  
す。今後も、児童一人ひとりが主体的に、また、算数の良さに気づける機会を増やす取り組みを続け  
てまいります。

## ●理科《概要》

全国値をやや下回る

## ●理科《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

### 「エネルギー」を柱とする領域

- ・「問題に対するまとめを導き出すことができるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録している」ことと「自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えを持つことができる」ことは、できています。
- ・「日光は直進することを理解できている」ことと「実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる」ことに課題が見られます。

### 「粒子」を柱とする領域

- ・「器具の理解」と「自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる」ことと「自然の事物・現象から得た情報を、他者の気づきの視点で分析して、解釈し、自分の考えを持ち、その内容を記述できる」ことは、できています。
- ・「器具の正しい扱い方を身に付けている」ことと「水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している」ことに課題が見られます。

### 「生命」を柱とする領域

- ・「昆虫の体のつくりを理解している」ことと「提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えを持つことができる」ことに、課題が見られます。

### 「地球」を柱とする領域

- ・「観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる」ことと「予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの筋道を構想し、自分の考えをもつことができる」ことに課題が見られます。

## ●理科における成果と今後の改善点について

児童質問紙での「理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか」の質問では、全国値に対して本校は大きく上回っています。実験を通して考察することで、実験結果や観察に対して、自分の考えをもつことは概ねできています。しかし、光の性質や昆虫の体のつくりといった知識を基に、新しい場面に対して結論の根拠を記述したりすることに課題が見られました。観察、実験の結果の具体的な数値や、分析内容などを根拠として表現する場面を設定した授業の取り組みを進めていきます。

水が水蒸気になって空気中に含まれていることを日常生活に関連付けて理解することに課題が見られました。知識をより深く理解できるようにするために、知識を使って、日常生活との関わりの中で捉えなおす場面を設定するような授業を目指してまいります。

## 2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

### 【学習環境・生活環境について】

- ・「将来の夢を持っていますか」という項目では、全国値を上回っています。
- ・全国の傾向と同じく「人の役に立つ人間になりたいと思う」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」

児童が多くみられます。

- ・「友達と協力するのは楽しいと思いますか」という項目では、全国値を下回っています。
- ・「学校の授業時間以外に、全く勉強をしない」児童は、全国値を上回っています。
- ・「学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間読書を読みますか」という項目では、1時間以上読んでいる児童が、全国値を上回っています。
- ・「読書は好きですか」という項目で「当てはまる」と答えた児童が、全国値を上回っています。
- ・「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT危機を、どの程度使っていますか」という設問では、「ほぼ毎日」と答えた児童が、全国値を大きく上回っています。
- ・「学習した内容について、分かった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」という項目では、全国値を上回っています。

#### 【教科・学習について】

- ・「算数の勉強は好きですか」の項目では、「当てはまる」と答えた児童が全国値を大きく上回っています。しかし、「算数の授業の内容はよく分かりますか」の項目で「当てはまる」と答えた児童は、全国値をやや下回っています。このことから、算数の持つ教科の魅力をさらに生かしながら、学習内容のわかりやすい授業を目指す必要があると考えられます。
- ・「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか」「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか」という項目では「当てはまる」と答えた児童が、全国値を大きく上回っています。算数・理科においては、さらに、普段の生活に活用し、将来に役立てる姿勢を伸ばしていきます。
- ・「国語の授業の内容はよく分かりますか」では、どちらかといえば当てはまる・当てはまると答えた児童が、全国値を大きく上回っています。「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか」という項目では、やや全国値を下回っていますが、全国の傾向と同じように多くの児童がどちらかといえば当てはまる・当てはまると考えています。国語に関しては、本校の研究テーマ「子どもの主体的な学びのある授業づくり」において、「物語文・説明文教材の学習」を中心に、国語での学習内容がどのように役立つのかがわかりやすい授業を目指します。

### 3 今後の取り組み

今回の結果を踏まえ、本校では、子どもが自主的に学習する意欲を育むために、課題を見つけ個別に計画を立て達成に向けて活動する取り組みを進めてまいります。ご家庭でも、様々な場面において、自分で計画を立てる機会を設けるなどのご協力をお願いいたします。また、友達と協力する楽しさを感じられるよう、学校生活の中で自分と違う意見について考え、互いの意見の良さを生かして解決方法を決める学級活動等の取り組みを引き続き進めてまいります。

また、一人1台端末の積極的な活用にあたり、デジタルメディア(インターネット・SNS・動画視聴等)とどのように向き合っていくか、子どもが主体的に判断する力が必要です。本校では、引き続き「デジタル・シティズンシップ教育」に取り組み、デジタルメディアとの上手な付き合い方を考える時間を設けていきます。ご家庭でも、デジタルメディアとの上手な付き合い方を、今一度、お子様と考えていただきますよう、お願いします。

学習内容について、問いを持ち自分なりに情報収集し解決に向け行動する個別最適な学びと、他者と協働し学びを深めようとする協働的な学びのある授業を目指し、子ども一人ひとりの資質・能力を高める取り組みを進めてまいります。今後とも、本校の教育活動にご協力の程、よろしくお願い致します。